



クラブ会長の計画および目標

2005～2006年度R I テーマ

「超我の奉仕」

この度、シンフォニーロータリークラブの会長に就任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年は、創立10周年の記念すべき年であります。かかる重要な年に会長を引き受けることとなり責任の重さを痛感している次第です。微力ではありますので、会員皆様のご指導とご協力を賜りつつ、会長の責務を全うする所存でございます。

さて、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー2005～2006年度国際ロータリー会長はR I テーマ「超我の奉仕」を掲げました。これはロータリーの原点を再確認し、それを土台に未来へ向かうことを意味しています。ロータリーの原点とは、人を助け、慈愛の種を播きたいという心、奉仕に手を貸したいという願望、そして超我の奉仕の理想を実践したいという意志だそうです。幸い当クラブでは、昨年度、継続的社会奉仕活動を立ち上げて頂きました。本格的な奉仕活動として、会員一同、力を合わせ取り組んでいきたいと思います。

また、第2840地区の曾我ガバナーは次の地区目標を掲げております。

1. 「超我の奉仕」を誓約しましょう
2. 地区リーダーシップ・プランとクラブ・リーダーシップ・プランを推進し、会員組織を強化しましょう。
3. ロータリー理念「奉仕の理想」の鼓吹・育成に努め、会員および組織の質的向上を図りましょう。
4. 魅力あるクラブ作りとクラブ組織強化を推進し、各クラブ会員純増1名を達成しましょう。
5. R I 第1890地区との研究グループ交換を成功させましょう。
6. ロータリー財団への寄付目標：年次寄付22万ドル、恒久基金寄付5千ドル、1人100ドル以上
7. 米山奨学会への寄付目標：一人当たり1万5千円

奉仕の第2世紀を迎えたロータリーは、今大きな危機に直面しており、今こそ地区全員の知恵と総合力を結集して、ロータリーの魅力を再生し、クラブを強化し、「奉仕の理想」の探求を一層推進すべき時だと述べられております。

そこで、当クラブも上記の地区目標を基に、下記の目標にそって活動していきたいと思います。

1. 継続的社会奉仕活動の実施（群馬県児童養護施設サッカー大会支援）
2. 創立10周年記念式典の実施
3. 21世紀委員会とクラブ・リーダーシップ・プランの推進
4. 例会の充実（ゲスト卓話）
5. 親睦活動の充実
6. 退会防止と会員増強
7. ロータリー財団・米山奨学への啓発

高崎シンフォニーロータリークラブ

会長 福村 平八郎